

県民の食育に対する意識等の調査結果

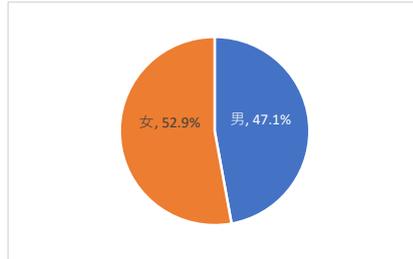
1. 調査目的
長崎県民の「食育」に関する認知度や意識等の現状を把握し、今後の取組について検討します。
2. 調査時期
令和6年1月22日 ~ 令和6年2月5日
3. 調査対象
ながさきWEB県政アンケート全モニター（334名）
4. 回収状況
回答者263名（回答率78.7%）
5. 調査担当課
県民生活環境部 食品安全・消費生活課

※端数処理のため、構成比が100%にならない場合があります。

◀回答者の属性▶

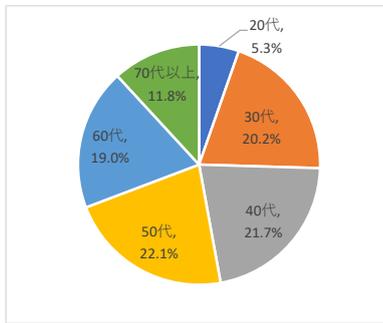
○性別構成比率

	人数	構成比
男	124	47.1%
女	139	52.9%
総計	263	100.0%



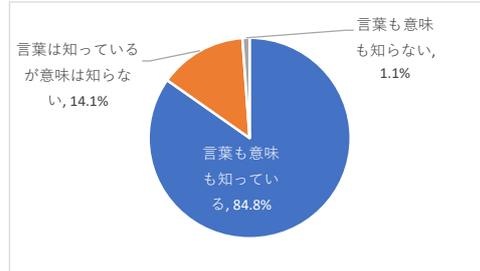
○年齢構成比率

	人数	構成比
20代	14	5.3%
30代	53	20.2%
40代	57	21.7%
50代	58	22.1%
60代	50	19.0%
70代以上	31	11.8%
総計	263	100.0%



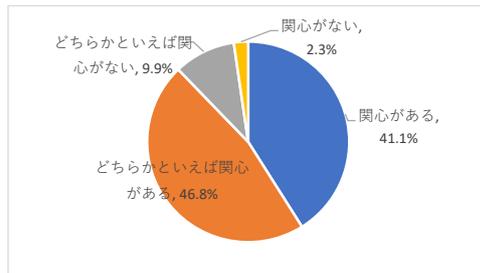
Q1「食育」という言葉やその意味を知っていますか。

	人数	構成比
言葉も意味も知っている	223	84.8%
言葉は知っているが意味は知らない	37	14.1%
言葉も意味も知らない	3	1.1%
総計	263	100.0%



Q2「食育」について興味や関心がありますか。

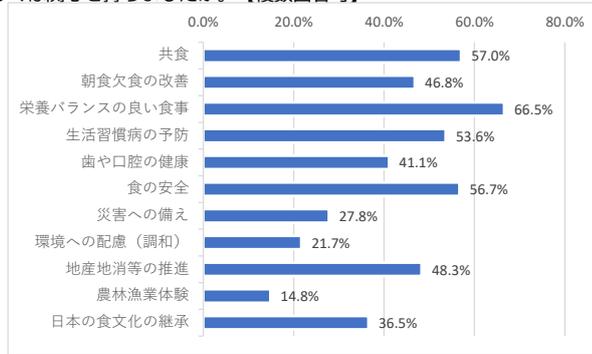
	人数	構成比
関心がある	108	41.1%
どちらかといえば関心がある	123	46.8%
どちらかといえば関心がない	26	9.9%
関心がない	6	2.3%
総計	263	100.0%



Q3食育について、どのような取組に関心がありますか。もしくは関心を持ちましたか。【複数回答可】

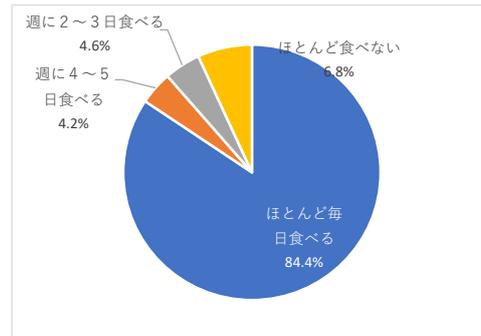
	人数	構成比
共食	150	57.0%
朝食欠食の改善	123	46.8%
栄養バランスの良い食事	175	66.5%
生活習慣病の予防	141	53.6%
歯や口腔の健康	108	41.1%
食の安全	149	56.7%
災害への備え	73	27.8%
環境への配慮（調和）	57	21.7%
地産地消等の推進	127	48.3%
農林漁業体験	39	14.8%
日本の食文化の継承	96	36.5%

回答対象者：263名



Q4ふだん朝食を食べますか。

	人数	構成比
ほとんど毎日食べる	222	84.4%
週に4～5日食べる	11	4.2%
週に2～3日食べる	12	4.6%
ほとんど食べない	18	6.8%
総計	263	100.0%



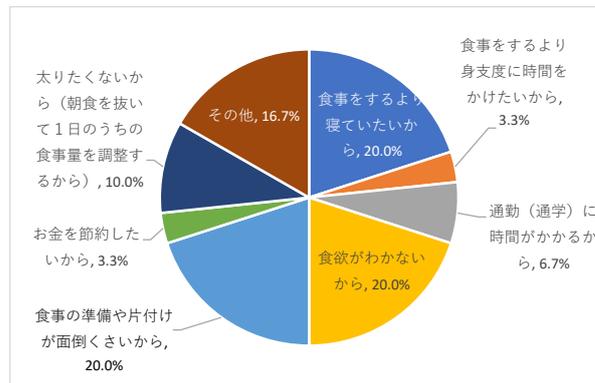
Q4-1のように回答した最も大きな理由はどれですか。

	人数	構成比
食事をするより寝ていたいから	6	20.0%
食事をするより身支度に時間をかけたいから	1	3.3%
通勤（通学）に時間がかかるから	2	6.7%
食欲がわからないから	6	20.0%
食事の準備や片付けが面倒くさいから	6	20.0%
お金を節約したいから	1	3.3%
太りたくないから（朝食を抜いて1日のうちの食事量を調整するから）	3	10.0%
その他	5	16.7%
総計	30	100.0%

回答対象者：Q4「週に2～3日食べる」「ほとんど食べない」30名

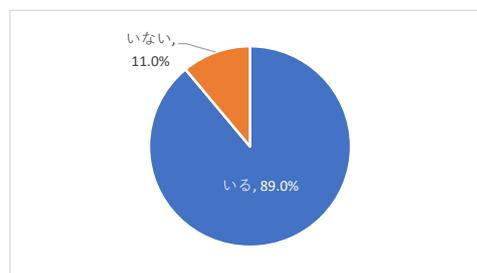
<その他の意見>

- ・16時間絶食をしているため
- ・1日3食は多すぎるから(体調管理の一環)
- ・ファスティングで内臓を休める為
- ・胃腸を休ませるため
- ・一日2食



Q5現在同居されている方がいますか。

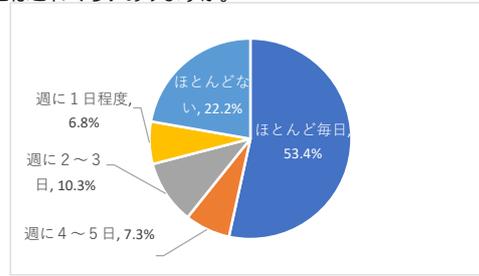
	人数	構成比
いる	234	89.0%
いない	29	11.0%
総計	263	100.0%



Q5-1同居されている方と一緒に朝食を食べることはどれくらいありますか。

	人数	構成比
ほとんど毎日	125	53.4%
週に4~5日	17	7.3%
週に2~3日	24	10.3%
週に1日程度	16	6.8%
ほとんどない	52	22.2%
総計	234	100.0%

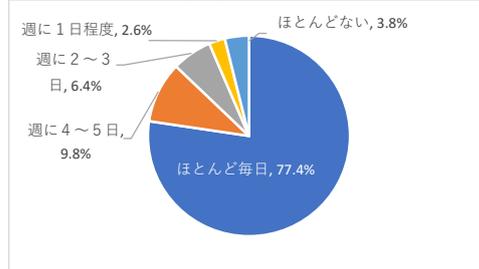
回答対象者：Q5「いる」234名



Q5-2同居されている方と一緒に夕食を食べることはどれくらいありますか。

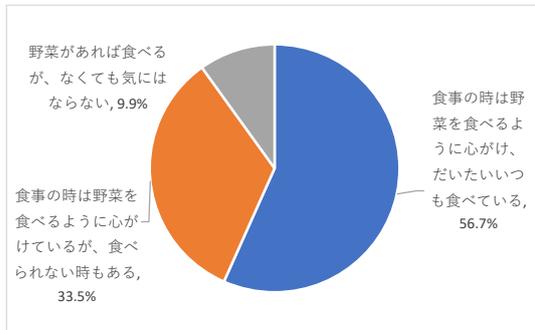
	人数	構成比
ほとんど毎日	181	77.4%
週に4~5日	23	9.8%
週に2~3日	15	6.4%
週に1日程度	6	2.6%
ほとんどない	9	3.8%
総計	234	100.0%

回答対象者：Q5「いる」234名



Q6ふだんの野菜の摂取に対する考えについて、もっとも近いものはどれですか。

	人数	構成比
食事の時は野菜を食べるように心がけ、だいたいいつも食べている	149	56.7%
食事の時は野菜を食べるように心がけているが、食べられない時もある	88	33.5%
野菜があれば食べるが、なくても気にはならない	26	9.9%
野菜を食べようとは、あまり思わない	0	0.0%
総計	263	100.0%



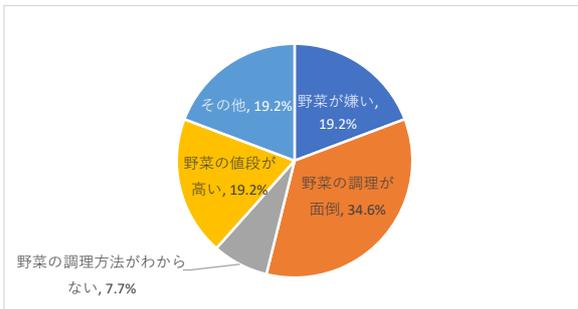
Q6-1そう思われる最も大きな理由はどれですか。

	人数	構成比
野菜が嫌い	5	19.2%
野菜の調理が面倒	9	34.6%
野菜の調理方法がわからない	2	7.7%
野菜の値段が高い	5	19.2%
その他	5	19.2%
総計	26	100.0%

回答対象者：Q6「野菜があれば食べるが、なくても気にはならない」26名

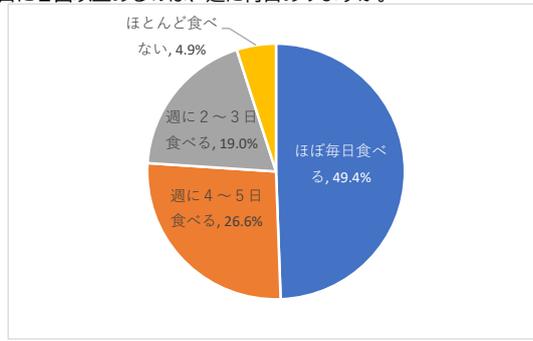
<その他の意見>

- ・メニューによっては野菜で満腹になり、必要な主食や主菜が食べられなくなる1
- ・出されたものを頂くだけだから1
- ・特に気にしていない1
- ・特に理由はない2



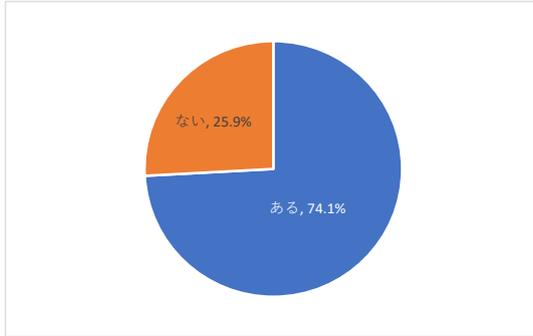
Q7主食、主菜、副菜の3つを組み合わせる食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。

	人数	構成比
ほぼ毎日食べる	130	49.4%
週に4～5日食べる	70	26.6%
週に2～3日食べる	50	19.0%
ほとんど食べない	13	4.9%
総計	263	100.0%



Q8食品の安全について「不安」がありますか。

	人数	構成比
ある	195	74.1%
ない	68	25.9%
総計	263	100.0%



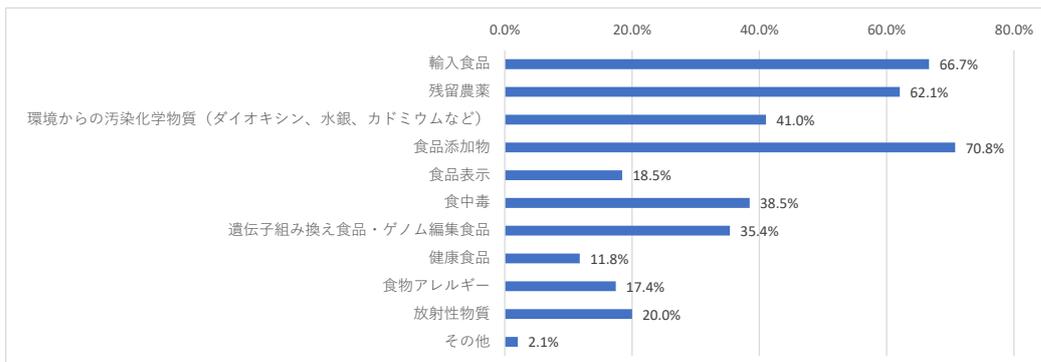
Q8-1どのようなことに不安がありますか。【複数回答可】

	人数	構成比
輸入食品	130	66.7%
残留農薬	121	62.1%
環境からの汚染化学物質（ダイオキシン、水銀、カドミウムなど）	80	41.0%
食品添加物	138	70.8%
食品表示	36	18.5%
食中毒	75	38.5%
遺伝子組み換え食品・ゲノム編集食品	69	35.4%
健康食品	23	11.8%
食物アレルギー	34	17.4%
放射性物質	39	20.0%
その他	4	2.1%

回答対象者：Q8「ある」195名

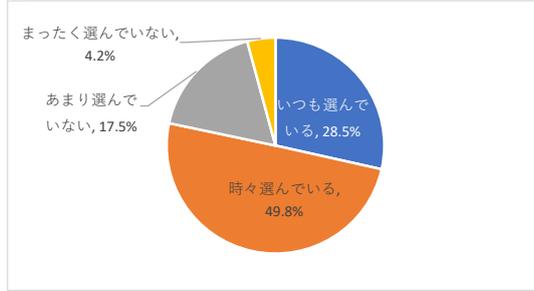
<その他の意見>

- ・異物混入1
- ・医療機関、製薬関係全体の規制緩和や添加物放題の企業よりの企業献金を目当てにした政治家の姿勢、国民の安全よりも自分の欲望。1
- ・国内では安全とされている食品が海外では危険な基準値の評価で扱われていることもあります。どこまで商品の安全性を信用して良いかわからなくなる時があります。1
- ・添加物1



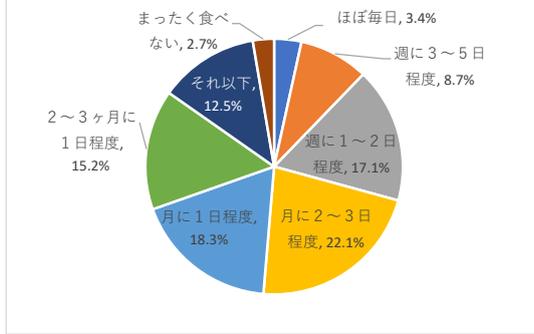
Q9産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選んでいきますか。

	人数	構成比
いつも選んでいる	75	28.5%
時々選んでいる	131	49.8%
あまり選んでいない	46	17.5%
まったく選んでいない	11	4.2%
総計	263	100.0%



Q10いわゆる郷土料理や伝統料理をどのくらいの頻度で食べていますか。

	人数	構成比
ほぼ毎日	9	3.4%
週に3～5日程度	23	8.7%
週に1～2日程度	45	17.1%
月に2～3日程度	58	22.1%
月に1日程度	48	18.3%
2～3ヶ月に1日程度	40	15.2%
それ以下	33	12.5%
まったく食べない	7	2.7%
総計	263	100.0%



Q11食に関する情報はどこから入手されていますか。【複数回答可】

	人数	構成比
職場（学校）	28	10.6%
新聞・雑誌	120	45.6%
本	60	22.8%
テレビ	152	57.8%
ラジオ	26	9.9%
インターネット上のニュースサイト	135	51.3%
YouTube等の動画サイト	36	13.7%
ブログ、SNS	64	24.3%
生産者や食品企業・販売業者のウェブサイトや広報物	50	19.0%
行政機関のウェブサイトや広報物	51	19.4%
家族とのやりとり	59	22.4%
ネット上を含めた友人、知人とのやりとり	31	11.8%
同僚とのやりとり	16	6.1%
スーパーマーケットなど食品の購入場所	96	36.5%
町中（電車等）の広告	8	3.0%
イベントやシンポジウム	21	8.0%
長崎県食品安全・消費生活課のホームページやSNS	9	3.4%
びわ太郎食育通信（長崎県食品安全・消費生活課発行）	4	1.5%
その他	2	0.8%

回答対象者：263名

<その他の意見>

- ・JAなど生産者による直販場所での会話を通じて1
- ・食改1

